



第57回全日本学生自転車競技トラック新人戦 東日本・西日本合同大会

2023年3月25日(土)・26日(日) 境川自転車競技場(屋外 400m)

主催：日本学生自転車競技連盟 / 共催：公益財団法人日本自転車競技連盟 / 運営協力：山梨県自転車競技連盟
協賛：公益財団法人 JKA 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会
井上ゴム工業株式会社 WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) 株式会社パールイズミ 株式会社クレーマージャパン

2023年3月21日
コミュニケ NO-6
チーフコミッサー古川利勝

1. 競技番組について

- 男子スプリントについては参加者3名のため、1/2 決勝は行わず、予選の結果の上位2名にて決勝を行います。また、女子スプリントについては参加者2名のため予選は行わず、2人で決勝を行います。
- 女子3km IP と男子4km IP は要項通り、決勝のみのタイムレースとし、対戦形式の3-4位決定戦・決勝戦は行いません。

2. 男子ポイントレースの専用ゼッケン使用とフレーム・プレート取付けについて

大会受付時に配付するゼッケンとは別に、ポイントレースでは、専用ゼッケン(プログラムのポイントレース頁に記載のゼッケン番号)を使用します。予選、決勝の各レース招集時に配付しますので、各レース参加選手は、間違いないように付けて下さい。また、フレーム・プレートを配付するので、フレーム前方左側にテープ等で取り付けて下さい。

3. タイム計測種目の計時について

本大会では、タイム計測種目の計時に電子計時を使用します。各自出走順が来たら、速やかに各自のペダル位置を合わせて、各自で自転車を発走機にセットして下さい。また、ウォーミングアップ、クールダウンの走行は、内側の練習用走路(アスファルト走路)のみとします。

4. レース出場選手の協力義務について

次の走者は、前のレース終了までには、スタート地点付近にて待機するようにして下さい。著しく遅れた選手、他の選手と同時にスタート位置に付けない選手は、レースから除外します。

5. バイクインスペクションについて

- レース15分前にはバイクチェックを必ず受けること

6. フィールド内への立入り人数について

①パーシュートまたはタイムトライアル種目における走路内のコーチについて

タイム系種目でフィールド内より指示を与えられるのは、パーシュートのみ・1チーム1名としますので、役員の指示に従って下さい。また、本大会への入場を許可されたことを証明するIDカードを所持する者に限ります。

- スタートしてそれが正しく行われたと認められたなら、コーチとして1名だけが安全地帯(ブルーバンドより4m内側)に留まることができますが、軽率な応援身振りなどは一切認められません。(2021.10.18UCI 規)

- コーチとして安全地帯に留まる場合、その者は小型トランジスタ・メガフォンや小型スピーカーまたは黒板やホワイトボードを使用して自チーム選手への情報伝達を行うことを認めます。大声の声援はマスクの着用をお願いします。マスクなしの大声肉声による指示等が確認された場合は注意します。また、競技運営に支障があるとコミッサーが判断した場合、その中止と退去を命じます。

②バンチレースにおける事故・ニュートラリゼーションへの対応について

バンチレースにおいては、代輪・代車を持ち込む等の、立入り人員の増員を以下のように認めます。

但し、走路の見通しを確保するため、フィールド内での待機中は座る様にして下さい。また、本大会への入場を許可されたことを証明するIDカードを所持する者に限ります。

- 事故等に備えてメカニックなどのチームスタッフが各チーム2名まで、必要な機材を準備し、フィールド内で準備・待機することを認めます。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

レースの結果はホームページでも公開しています。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

<https://jicf.info/>





第57回全日本学生自転車競技トラック新人戦 東日本・西日本合同大会

2023年3月25日(土)・26日(日) 境川自転車競技場(屋外 400m)

主催：日本学生自転車競技連盟 / 共催：公益財団法人日本自転車競技連盟 / 運営協力：山梨県自転車競技連盟

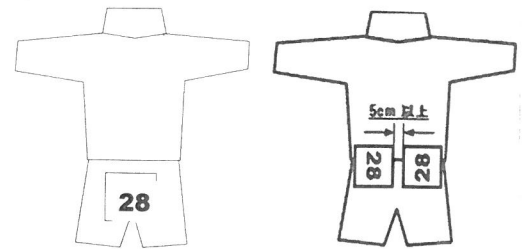
協賛：公益財団法人 JKA 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会

井上ゴム工業株式会社 WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) 株式会社パールイズミ 株式会社クレーマージャパン

- バンチレース(本大会ではポイントレース・ケイリン)において、上記のチームスタッフとは別に、各チーム1名のコーチがトラック内側安全地帯より内側の部分(芝生部分に相当)から小型トランジスタ・メガフォン、小型スピーカ、黒板、またはホワイトボードを使用して自チーム選手への情報伝達を行うことを認めます。各コーチは相互に両手を伸ばしても触れあわない距離を保ち、大声肉声の声援はマスクを着用して行うこと。
- ニュートラリゼーション適用の際の周回数、本大会では1250mに最も近い3周以内とします。ただし、最後の1km以降は復帰することはできません。

7. ゼッケンの付け方について

ゼッケンを付ける際の安全ピン、フレーム・プレート(ポイントレース)をつける際の結束バンド等の資材は、各自で用意して下さい。ゼッケンの各種目における取付位置は右図のとおりとします。乗車した姿勢で、出来るだけシワがよらない様に装着して下さい。ゼッケンを折り曲げる、フレーム・プレートの形状を変更することは認められません。なお、ゼッケン、フレーム・プレートは今大会では回収しません。



1km,500m タイムトライアル
パーシュート競技

左記以外のすべての種目
(200mTTを含む)

8.ホルダーに関すること

- ・男子ポイントレース(内側スタート)
 - ・ケイリン2走以降(一番内側の1走はコミッセルが担当する)
- に関しては、各チームでホルダーを用意して下さい。

また、このホルダーについては、本大会への入場を許可されたことを証明するIDカードを所持する者に限ります。

9. その他の競技上の注意事項

- ①トラック上にいる間は、競技者は常に自転車をしっかりとコントロール下におき、ハンドル(あるいは延長部)上に少なくとも片手を置いていなければならない。これに違反した競技者には警告を与える。(JCF規則第71条1項)
- ②競技中に使用する靴下とオーバーシューズは、踝の中心と腓骨頭中心の間の半分の距離によって定義された高さ以上に及んではならない。(JCF規則第8条6項)
- ③原則としてコミッセルパネルの決定が最終であり、異議申立てをする事はできない。(JCF規則第46条)

- ハンドルバー、並びにアタッチメントバーの全ての端面には、バーエンドキャップを装着して下さい。また、安全のため滑らないように握りの部分にはバーテープを巻いて下さい。

10. その他諸注意

- 表彰式にはチームユニフォームを着用して下さい。サングラス・帽子・サンダル履きは禁止します。

以上



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。
<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

レースの結果はホームページでも公開しています。
<https://jicf.info/>

